

平成22年度 第4回 府中市文化財保護審議会議事録

日時 平成22年12月6日(月) 午後4時00分

場所 府中駅北第2庁舎3階会議室

出席者 田中会長、猿渡副会長、小澤委員、坂詰委員、副島委員、中村委員、馬場委員、福嶋委員、藤井委員以上9名

事務局 斎田文化スポーツ部長、英文化振興課長、江口副主幹、庄司郷土資料担当主査、中山事務職員

助言 建築事務所

傍聴者 なし

1 審議事項

会長 それでは審議事項(1)から事務局の説明求めます。以下、審議事項(1)から順にお願いします。

(1) 市指定有形文化財大國魂神社鼓楼調査の中間報告について(現地視察)

事務局 本日は、先に大國魂神社鼓楼前にお集まりいただき、現地で鼓楼をご覧いただきながら、現状をご説明させていただきました。現地をご覧になっていない方もいらっしゃると思いますので、改めてこの場で調査の中間報告をさせていただきます。

中間報告の概要については、市が調査を依頼した建築事務所の方に来ていただきましたのでこの場で説明いただきます。

建築事務所 調査が半ば終了しましたのでここに中間報告させていただく次第です(配布資料参照)。今回新たに、これまでの修理経過を知ることのできる銘板(昭和52年)が見つかりました。本建築は本来は屋根が茅葺であったものが瓦葺にとりかえられたものです。現在は雨漏りによる腐朽は止まっていますが、部材が外れた箇所も見受けられます。昭和52年以降にシロアリの被害を受けています。とくに1階部分に使用されている松材やケヤキ材にかなりの蟻害が及んでいます。同時に地盤調査も行いましたが、基礎の下には黒土、ローム層、砂利層の順に堆積していますが何ら問題はありませんでした。ただこのところの修理のサイクルが早くなっているのが気になります。特に蟻害に対しての早急な対策を講じる必要があると思います。松材が特にひどく部分的な修理は必要かと思いますが、大きな地震でも想定しない限りは大規模な修理は必要はないように思います。袴の外側の松材も蟻害のための破損が目立っています。また柱脚に土間コンクリートを敷いてしまっているので、これに湿気を含んで建物全体に悪い影響を与えているようです。また上部の2階の縁床組の貫にも蟻害が及んでいます。

なお、大國魂神社の鼓楼とよく似た建築の類例は土佐神社にありますので、そういったものを参考にしてみたいと思います。

会長 今回は何をどのように取り替えるのですか。

事務局 今回は調査だけを依頼しています。

建築事務所 今回急がれるのは蟻害対策と、貫の松材の取替えは必要かと思いますが、全体的に大掛かりな修理は必要ないと思います。ただ、前回の修理（33年前の昭和52年）以降、かなり緩みが発生していることが気になります。それでも将来的には半解体に近い修理したほうがよいのですが、今すぐに根本的な修理をするという状況ではありません。

事務局 今回の調査は修理がどの程度必要か中間報告をしたものです。

会長 シロアリは今いるのですか。

建築事務所 確認はできなかったのですがまだ活動はしていると思います。本来は古建築にはシロアリの被害はなかったといえます。シロアリは日本には江戸時代中期以降に九州から入り込んだといわれています。なぜこの建物にシロアリの被害が多いのか疑問ではあります。

委員 穴のあいた部材は取り替える必要がありますか。

建築事務所 「穴」はシロアリではなくキクイムシの一種のシバンムシがあけたもので取り替える必要はありません。

委員 シロアリもふつうシラタと呼ばれる材の外側の白木を好んで食べると思います。

委員 材にあいた穴が目立つということは古い材を転用したものだということですか。

建築事務所 材はあまり風化もしていませんし、磨耗痕もみられないので転用材ではありません。

会長 写真にある銘板は今回の調査で発見されたものですか。

建築事務所 はいそうです。

委員 そこに棟梁の名前はなかったですか。ふつう筆頭（代表者名）は後に書かれているはずです。

建築事務所 なかったです。

委員 神社の方ではその時の古文書などの記録は残っていないですか。

委員 ここに出てくる名前は昭和52年に修理をお願いした工務店名です。

事務局 今回は中間報告ということで調査を依頼した建築事務所の方からお話いただきました。ご説明ありがとうございました。この後に正式な報告書を提出していただきます。報告書作成の際には馬場委員、猿渡委員にもご協力いただいで報告書を作成し、その後、本審議会でご審議いただきたいと思います。

2 報告事項

(1) 国指定史跡武蔵国府跡の追加指定について

事務局 このたび、国司の館及び府中御殿が確認された国史跡武蔵国府跡の追加指定が、国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対して答申が出されました（資料1）。お手元の文化庁資料の15ページ以降が史跡の追加指定になりますが、武蔵国府跡もここに含まれます。

武蔵国府跡については今後、保存活用計画を策定いたしますが、観光的な活用も考えてほしいという市民等の意見もあります。さしあたって、来年度は建物の柱のポイントを示したり、現地に簡単な説明看板等を置いてPRをさせていただく予定です。平成24年度以降は保存整備策定案を検討してまいります。次回の文化財保護審議会でもご案内しますが、郷土の森博物館の特別展（「古代国司と家康御殿」）で追加指定となった本町の遺跡の紹介を行う予定です。

会長 追加指定された史跡の場所は駅前ではありますが、そこに大型バスの駐車スペースを確保する必要はありませんか。

事務局 原則、史跡内には設置できませんが、文化庁も今までにない整備は必要になるだろうということは言っています。公共的な施設の設置は必要になる可能性はあります。

委員 現在遺跡は埋め戻されているのですか。

事務局 埋め戻されています。

委員 施設は史跡指定地外にしか作れないが、周辺が都市化しているため特例で、地中の遺構を傷めないようにすれば中に作ることも考えられるのではないかと思います。

委員 遺構の保存を前提として平置きの低層の建物なら問題ないのではないのでしょうか。

(2) ふるさと再発見！武蔵府中歴史まつり2010の実施について

事務局 ふるさと再発見！武蔵府中歴史まつり2010ですが、武蔵府中熊野神社まつり、国司パレード、物産展、歴史のまち府中市民歴史フォーラム、発掘お宝展、こども歴史検定などを開催いたしました（資料2）。

来年度も武蔵府中歴史まつりは実施する予定ですが、観光経済課ともタイアップして行おうと考えています。

なお昨年、府中市で第1回国府ロマン交流祭を開催しましたが、開催時期は未定ではありますが、第2回は山口県防府市で開催されることが決定しました。

(3) 府中市立ふるさと府中歴史館条例について

事務局 現在、府中市立ふるさと府中歴史館は、来年4月開館に向けて準備を

進めています。

府中市立ふるさと府中歴史館条例は、現在開会中の市議会定例会の議決を経て制定される予定になりました。館の名称も条例で定めてまいります。条例については前回の本審議会でもご審議いただきましたが委員の皆様の意見を反映させつつ修正しています。

その後、休館日の変更がありまして、当初は休館予定であった5月3、4日はくらやみ祭りも行われますので、当日は観光客など多くの方が訪れるものと予想され、府中の歴史をより知ってもらえるように1階の国府資料室の臨時開室を検討しております。また臨時に開館時間の延長なども検討しています。

(4) 市立武蔵府中熊野神社古墳公園の整備事業について

事務局 武蔵府中熊野神社古墳は市立武蔵府中熊野神社古墳公園として整備を行うものです(資料4)。

計画図の西側、北側(緑色に塗った部分=民有地)の整備計画を考えているところです。今後の予定につきましては、資料の下の表にありますように、南側のガイダンスゾーンは平成23年度中に整備を実施し、北側の便益施設・体験学習ゾーンは、平成23年度から平成28年度までの5年間を目途に整備を実施する予定です。公園緑地ゾーン、古墳の西側の遺構保存ゾーンは平成23年度以降に民有地についての用地買収を進め、数年計画で市有地化した部分から順次整備を実施していく予定です。

報告事項は以上です。

会長 確か古墳の北側は幼稚園でしたか。その間を走る道路の付け替えできないのですか。

事務局 当面は難しいかと思えます。

会長 他に何か質問等がありますか。

事務局 追加で報告させていただきます。

市民の方から貴重な短刀をご寄贈いただきました。現在、研師に研ぎをしていただいています。今後は郷土の森博物館で保管してまいります。

多摩郷土誌フェアが今年度も実施されます。年明けの1月21日から23日の3日間に例年どおり立川で開催されます。府中市も参加していますのでこの機会にぜひ足をお運びください。

3 その他

(1) 次回の開催日程について

次回平成22年度の府中市文化財保護審議会の第5回です。

平成23年2月7日(月)午後2時からです。